

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年5月15日～5月21日)

平成 26 年(2014 年)5 月 23 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治 与党・市民プラットフォーム(PO)が公的機関の最新世論調査でリード トウスク首相がブラチスラバを訪問 シコルスキ外相がキエフを訪問 トウスク首相がイタリアを訪問 ガシュパロヴィチ・スロバキア大統領がポーランドを訪問 トウスク首相がブリュッセルを訪問</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>経済 ピエホチンスキ副首相がウクライナ危機に対する補償を欧州委員会に要求 EBRDはポーランドに対する融資を継続 経済特別区への投資許可申請が殺到 4月のインフレ率は0.3% 第1四半期の経済成長率は予想速報値で3.3% 平均賃金は上昇傾向が続く 欧州委員会がフィアット社向け1億ズロチのEU補助金を承認 イケア社がポーランドで年間10億ユーロを投資予定(ピエホチンスキ副首相) InPost社がカルフル社と組んでイタリアでロッカーを展開 Global City Holdings 社が1億ユーロを投資して巨大ウォーター・パークを建設 V4首脳会合でエネルギー同盟について協議 欧州委員会がポーランドとリトアニアを結ぶ国際送電線の建設に対する支援を承認 チリのシエラゴルダ鉱山開発プロジェクトは予定どおり進行(KGHM社) トウスク首相はコンパニア・ヴェングロヴァ社を救済する方針 国有電力会社が国産石炭のみを使用する方針 ガスプロム社はEU向けガス供給を遮断しないことを確認</p>								
<p>その他 人材の能力ギャップが顕在化</p>								
<p>大使館からのお知らせ クラクフにおける領事出張サービスについて 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分) 大使館広報文化センターの開館時間延長について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事</p>								
<p>在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</p>								

政	治
内	政

与党・市民プラットフォーム(PO)が公的機関の最新世論調査でリード【20日】

20日に発表された公的調査機関CBOSによる世論調査の結果によると、与党・市民プラットフォーム(PO)が26%の支持率を獲得し、最大野党「法と正義」(PiS)の21%を上回った。その他の主

要政党については、民主左翼連合(SLD、野党)が8%、農民党(PSL、連立与党)が5%、新右派(野党)が4%、欧州プラスーみんなの運動(野党)が2%の結果となった。一方で、他の世論調査では最大野党PiSが第一位となる結果もあり、二大政党の支持率はほぼ拮抗しているとみられている。

外	交
---	---

トウスク首相がブラチスラバを訪問【15日】

15日、トウスク首相はブラチスラバを訪問し、V4(ヴィシエグラード・グループ)首相会合に出席した他、国際安全保障会議GLOBSECに参加した。V4首相会合ではエネルギー面を中心に意見交換が行われ、トウスク首相は同会合後に、V4各国はガス供給の問題に直面する際の連帯メカニズムを設立することに合意した旨述べた。GLOBSECにおいては、トウスク首相はEUが防衛面及びエネルギー面において共通の立場を持つことの重要性を訴え、自分が会談した全ての欧州首脳は基本的にポーランドの提唱するエネルギー同盟構想に同意している旨述べた。

年記念式典への出席、ローマ法王謁見を行った。トウスク首相はレンツィ伊首相と会談後に、EUは現在ウクライナ情勢に対する統一した立場を示さなければならない、EUが共通の立場を形成できなければ金融危機、雇用問題、対露関係の何れの問題も解決することができない旨述べた。

ガシュパロヴィチ・スロバキア大統領がポーランドを訪問【19日～21日】

19日～21日、ガシュパロヴィチ・スロバキア大統領がポーランドを訪問し、20日にコモロフスキ大統領と会談を行った。両大統領は、良好な二国間関係、ウクライナ情勢、2022年冬季オリンピック開催に向けた両国の共同立候補につき意見交換した。またコモロフスキ大統領は、本年6月に任期を終えるガシュパロヴィチ大統領に対し、10年間にわたる両国関係発展への貢献への感謝の意を表した。

シコルスキ外相がキエフを訪問【15日～16日】

15日～16日、シコルスキ外相はキエフを訪問し、デシチーツァ外相代行と外相会談を行った他、トゥルチノフ大統領代行、ヤツェニウク首相等と会談を行った。各会談において、現下のウクライナ情勢、5月25日の大統領選挙に向けた準備の文脈を含めた今後の展望、EUのウクライナ国民に対する査証免除に向けたウクライナ政府の取り組み、ウクライナの経済改革及び地方分権改革の進捗状況等について意見交換が行われた。また両国外相は、2014年～15年の両国外務省間の協力計画文書に署名した。

トウスク首相がブリュッセルを訪問【21日】

21日、トウスク首相はブリュッセルを訪問し、ファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長と会談を行った他、「欧州のエネルギー安全保障戦略への道を開く」と題する会議に出席した。トウスク首相はファン＝ロンパイ議長との会談後に、同議長は(エネルギー同盟に関する)ポーランドの考え方への賛意を示してくれた旨述べた。またトウスク首相は参加した会議においてポーランドの提唱するエネルギー同盟構想の重要性を強調した。

トウスク首相がイタリアを訪問【17日～19日】

17日～19日、トウスク首相はイタリアを訪問し、レンツィ伊首相との会談、モンテカシーノの戦い70周

経	済
---	---

経済・財政政策

ピエホチンスキ副首相がウクライナ危機に対する補償を欧州委員会に要求【15日】

ピエホチンスキ副首相兼経済大臣は、欧州委員会はウクライナ東部の不安定な状況により企業が被った損失についてポーランド及び他の加盟国に

対し補償すべきであると主張した。同副首相は、東側市場との貿易量が第1四半期に減少しており、不確実性やロシア(ルーブル)及びウクライナ(フリヴニャ)の通貨下落により、ポーランド産品が両国で値上がっていること、更にEUがウクライナ産品

に対し関税を引き下げることを選択したことにより、中・東欧市場を不安定化させていると指摘した。

EBRDはポーランドに対する融資を継続【15日】

ワルシャワで開催された欧州復興開発銀行(EBRD)の総会において、議長を務めた中央銀行のベルカ総裁は、経済体制の移行は完了したとして融資打切の声が上がる中、ポーランドに対するEBRDの関与は今後も継続すると述べた。EBRDの関与はリスクの高い事業を進める際、他の財源の活用を容易にする上で重要であり、また現下のウクライナ及びロシア情勢の影響により、政治的・社会的に不安定な地域で困難なビジネスを展開する国に

焦点を当てるべきと説明している。

経済特別区への投資許可申請が殺到【16日】

7月1日より政府支援(state aide)に関する新しい規則が適用され、支援が現行よりも制限される見通しとなっていることから、経済特別区への投資許可申請が殺到している。2014年第1四半期だけで2013年の許可数を上回る見通しで、カトヴィツェ経済特別区のヴォヤチェク管理会社社長は、通常の取扱件数は20件程度であるが、現在は40件以上を扱っていると述べている。

マクロ経済動向・統計

4月のインフレ率は0.3%【14日、15日】

中央統計局(GUS)によれば、4月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比で0.3%の上昇となり、3月の同0.7%から更に低下した。前月比では3月と同水準となる0.1%の上昇。また、コア・インフレ率も前年同月比で3月の同1.1%から0.8%に低下し、前月比では3月と同水準となる0.3%となっている。

第1四半期の経済成長率は予想速報値で3.3%【15日】

中央統計局(GUS)は、第1四半期の経済成長率について、前年同期比で2013年第4四半期か

ら大きく上昇した3.3%との予想速報値を発表した。前期比では1.1%との予想。財務省も最近2014年通年の成長率を3.3%に上方修正しており、特に個人消費が堅調で低インフレによる実質賃金の上昇により消費者がローンを組みやすくなっているとコメントしている。

平均賃金は上昇傾向が続く【19日】

中央統計局(GUS)によれば、4月の平均賃金は前年同月比3.8%増、前月比1.0%減となる3976.80ズロチであった。また、3月の雇用者数は前年同月比0.7%増の5,514,500人となっている。

ポーランド産業動向

欧州委員会がフィアット社向け1億ズロチのEU補助金を承認【20日】

欧州委員会は、Fiat Powertrain Technologies Poland社に対し、1億ズロチのEU補助金を付与することを承認した。同社はビエルスコーピア工場(ポーランド南部)で900ccの小型ディーゼル・エンジンを製造し、新たに400人の雇用を創出する。なお、サムスン社、IBM社、フォルクスワーゲン社及びGM社をはじめとする合計15のプロジェクトが欧州委員会の承認を待っている。

イケア社がポーランドで年間10億ユーロを投資予定(ピエホチンスキ副首相)【16日】

ピエホチンスキ副首相兼経済大臣は、イケア社が年間10億ユーロを投資することを望んでいると述べた。同副首相は、ポーランドは世界第4位の家具生産国で、欧州最大の家具輸出国であることを強調した。また、世界全体で販売されているイケア社製家具の約40%がポーランド製であると述べた。

InPost社がカルフル社と組んでイタリアでロッカーを展開【15日】

小包受取ロッカーを展開するInPost社は、カルフル・イタリア社の店舗網に同社製ロッカーを展開することに合意した。今年200台、近い将来更に1,000台を展開する。

Global City Holdings社が1億ユーロを投資して巨大ウォーター・パークを建設【21日】

Global City Holdings社(旧 Cinema City International社)はムシュチヨヌフ(Mszczonow, ワルシャワの南西60km)に1億ユーロを投資して巨大ウォーター・パークを建設する。建設はドイツのWUND社が担う。来年2月に建設を開始し、2016年10月に開業予定。同社はムシュチヨヌフ近辺に「the Amusement Park of Poland」と称するアミューズメント・パークを建設予定で、ウォーター・パークが初めての施設となる。

V4首脳会合でエネルギー同盟について協議【15日】

15日、トウスク首相はV4首相会合に出席し、エネルギー面を中心に意見交換した。トウスク首相は、V4各国首相は（V4各国が）ガス供給の問題に直面する際の連帯メカニズムの設立に合意した、V4地域における右メカニズムはEU全体にとって参考となる前例になるであろうと述べた。トウスク首相は、エネルギーの共同購入を含むエネルギー同盟構想を進めていく必要がある、V4各国首相は基本的にはエネルギー同盟構想に同意しているが、詳細事項に関する共同作業が必要である旨述べた。

欧州委員会がポーランドとリトアニアを結ぶ国際送電線の建設に対する支援を承認【15日】

欧州委員会は、エウク（ポーランド北東部）からリトアニア国境までの新規送電線建設に欧州地域開発基金から6千万ユーロを支出することを確認した。合計投資金額は1億9,370万ユーロに上る。同送電線は2016年初頭に稼働開始予定で、ポーランドとバルト3国との電力市場統合等に役立つ。

チリのシエラゴルダ鉱山開発プロジェクトは予定どおり進行(KGHM社)【16日】

KGHM社は6月末までにチリのシエラゴルダ鉱山で銅、モリブデン及び金の採掘を開始する予定。環境保護団体の活動により、採掘資源の鉄道輸送が妨害されることが懸念されているが、KGHM社は裁判所によって迅速に解決されるであろうと述べた。仮に裁判所が妨害を差し止める裁定を下さずともタンクローリーで輸送することができる。この場合、輸送コストが高くなるが、プロジェクトの規模に鑑みれば金額は大きくないとロマノフスキ副社長は述べている。

トウスク首相はコンパニア・ヴェングロヴァ社を救済する方針【19日】

16日、トウスク首相は炭鉱労働組合と会談し、コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社による社会保険料の支払い遅延を可能とする法案などを提起した。

6月5日にKW社の債務返済などに関する協議を行う。政府はシレジア地方における炭鉱部門の社会的重要性やエネルギー安全保障における重要性を認めており、6月5日までに政府の特別対策チームが救済策を提示することが見込まれている。トウスク首相は、ポーランドの炭鉱部門を効率化し、エネルギー部門において引き続き石炭が重要な役割を担うとの目的を政府と組合は共有していると述べている。

国有電力会社が国産石炭のみを使用する方針【19日】

カルピンスキ国有財産大臣は、コジェニツェ、オポレ及びヤヴォジエノで建設中の新規石炭火力発電所はポーランドの炭鉱から供給される石炭のみによって発電されると述べている。炭鉱会社と電力会社との間で長期供給契約が既に締結されている。新規発電所では年間1,200~1,500万トン(コジェニツェ石炭火力発電所では年間350万トン)の石炭が利用される見込み。しかし専門家は、発電所の建設が完了するまでに時間がかかること、欧州委員会が自由市場による競争原則に反するとして反対すること、価格の高い国産石炭を利用することで電気代が上昇することを指摘し、ポーランドの炭鉱の競争力を維持するには不採算炭鉱の閉鎖等が必要であるとしている。

ガスプロム社はEU向けガス供給を遮断しないことを確認【19日】

ガスプロム社のミレルCEOは、「ガスプロム社は欧州の消費者が問題を抱えることのないよう出来る限りを尽くす」と述べ、ウクライナ経由のEU諸国への天然ガス供給を停止しないと述べた。ガスプロム社は、ウクライナがガス料金の前払いを行わなければ6月3日にガス供給を遮断する方針を示していた。ミレルCEOは、ウクライナが支払いを行った分とEU諸国への供給義務を負っている分全量のガスを送汽すると述べた。EU諸国はガス需要の1/4をロシアから輸入しており、そのうち半分はウクライナ経由で輸送されている。

その他

人材の能力ギャップが顕在化【21日】

PwC社は、ポーランド企業において、現在技術者が保有する能力と将来求められる能力との差が大きくなっていると同社報告書で指摘している。経

済成長により雇用機会が生まれる可能性があっても、十分な技能労働者が見つからない問題に企業は直面しており、特にインフラプロジェクト、IT、非主要外国語分野の人材が不足している。

大使館からのお知らせ

クラクフにおける領事出張サービスについて

大使館は、6月14日(土)10時から13時までの間、Qubus Hotel(Nadwislanska 6, 30-527, Krakow)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/ryoujishuccho.krakow26.pdf>

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間延長について

毎週月曜日の開館時間を19時まで延長しています。火曜日から金曜日までは、従来通り9時から17時までご利用いただけます。

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【実施中】日本のフレーム写真コンテスト【5月10日(土)～8月31日(日)】

ラッキーマンデー社主催による『日本のフレーム写真コンテスト』が開催中です。また、9月26日からクラクフ市にて日本美術技術博物館 Manggha との共催による『日本の最新技術における専門家フォーラム』が予定されています。

詳細: www.japonskiekadry.pl

【実施中】Mundus Cantat【5月19日(月)～26日(月)】

ソポト市にて、日本の合唱団 Gaia Philharmonic Choir(指揮: 松下耕氏)が『Mundus Cantat 国際コンクール』に出場します。

開催場所: ソポト市

詳細: <http://munduscantat.pl/>

【実施中】MADE IN JAPAN 日本文化フェスティバル【5月22日(木)～25日(日)】

グダンスク市にて、グダンスク大学文化センター主催による、日本文化フェスティバルが開催されます。日本に関する講演会、日本の合唱団によるコンサート、よさこいの演舞、折り紙や武道、書道のワークショップが予定されています。

開催場所: グダンスク大学キャンパス

詳細: www.madeinazja.pl

問合せ先: bg@uwb.edu.pl, 85 745 76 87

【予定】第14回少年伝統空手選手権大会【5月31日(土)】

ワルシャワ市にて、ポーランド伝統空手協会主催による『第14回少年伝統空手選手権大会』が開催されます。

開催場所: Arena Ursynow, ワルシャワ市

詳細: <http://www.warszawa.karate.pl/>

【予定】ジュニア剣道選手権及び青年剣道選手権大会【5月31日(土)】

ビドゴシュチ市にて、ビドゴシュチ剣道・居合道・杖道協会主催による『第15回ポーランドジュニア剣道選手権大会』及び『第10回ポーランド青年剣道選手権』が開催されます。

開催場所: ビドゴシュチ市, Zespól Szkól nr 16, ul. Koronowska 74

詳細: mpjim2014.kendo.bydgoszcz.pl

【予定】第10回国際青少年極真空手選手権大会【5月31日(土)～6月1日(日)】

シフィノウィシチエ市極真空手アカデミー主催による『第10回国際青少年極真空手選手権大会』が開催されます。

開催場所: シフィノウィシチエ市, Zespól Szkól Ogólnokształcących, ul. Witosa 12

詳細: www.akademiiakarate.com

【予定】日本の子供の日【5月31日(土)～1日(日)】

ラブカ・ズドゥルイ市“Tengu”武道アカデミー主催による『日本の子供の日』が開催されます。

開催場所: ラブカ・ズドゥルイ市

詳細: <http://tengu.pl/>

【予定】第2回日本祭り「Matsuri」【6月1日(日)】

タルノフスキェ・グリュ市にて、タルノフスキェ・グリュ市文化センター主催による『第2回日本祭り「Matsuri」』が開催されます。

開催場所: タルノフスキェ・グリュ市文化センター

詳細: <https://www.facebook.com/tgbunka>

【予定】ブルビヌフ市にて日本の日【6月1日(日)】

ブルビヌフ市にて、ブルビヌフ市立文化センター主催による『ブルビヌフ市にて日本の日』が開催されます。

開催場所: ブルビヌフ市OK文化センター Wilsona 2

詳細: <http://www.ok.brwinow.pl/>

【予定】国際青少年柔道選手権大会 ソラニンカップ【6月7日(土)～8日(日)】

ノヴァ・スル市スポーツクラブ「Olimp」主催による『国際青少年柔道選手権大会 ソラニンカップ』が開催されます。

開催場所: Park Krasnala, Al. Wolności 11, 67-100 Nowa Sol

Hala Sportowa, ul. Botaniczna (悪天候の場合)

詳細: <https://www.facebook.com/SolaninCup2014>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

(ご連絡は電子メールでお願いします。)